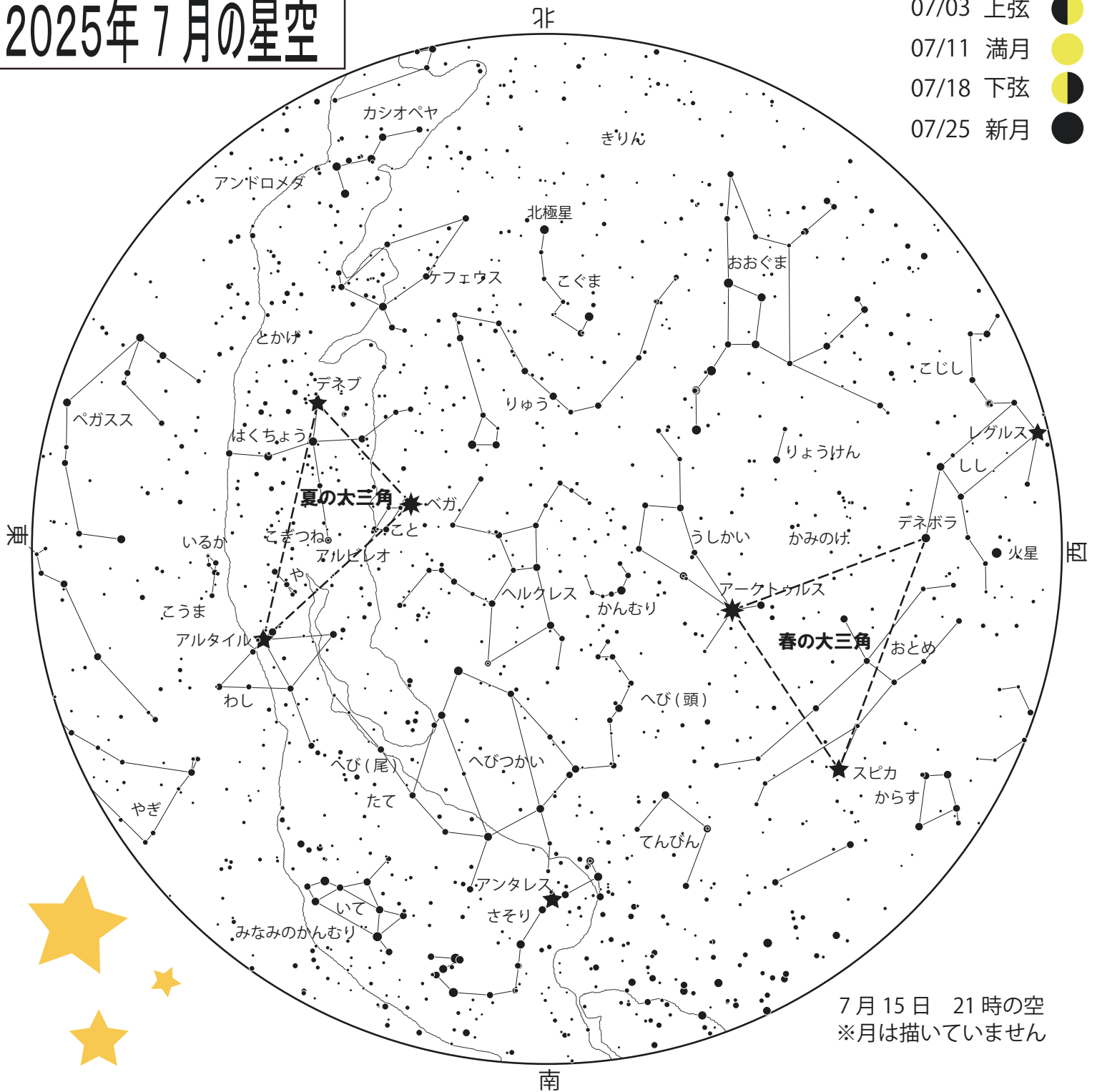


姫路で見る 2025年7月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

07/03 上弦 
07/11 満月 
07/18 下弦 
07/25 新月 



7月15日 21時の空
※月は描いていません

7月になっていよいよ夏本番といったところですが、夜空を見上げてみると、西の空にはまだたくさんの春の星を見ることができます。北の空高く、ひしゃくの形をした7つの星の並びの「**北斗七星**」が存在感を放っています。ひしゃくの柄のカーブを伸ばすと、オレンジ色に輝くうしかい座の1等星**アークトゥルス**が見つかります。カーブの更に先には、白く輝くおとめ座の1等星**スピカ**があります。西の地平線に沈みかけているしし座の尻尾の先で輝く2等星の**デネボラ**と直線で結ぶと、南西の方角に「**春の大三角**」が出来あがります。太陽を周る惑星の**火星**は、赤く不気味な色で光りながら、しし座の中を西から南に移動しています。

南の空と東の空は、夏の星たちでいっぱいになっています。さそり座はいて座に弓矢で狙われていて、西の空へと逃げていきます。こと座の**ベガ**は七夕の物語の「**織姫星**」、わし座の**アルタイル**は「**彦星**」です。「**織姫星**」と「**彦星**」の間には「**天の川**」が流れていて、毎年七夕の日だけに会うことが許されています。七夕は旧暦の7月7日で、現在の暦では今年は8月29日が伝統的七夕になります。七夕の星たちとはくちょう座の**デネブ**をつないでできる「**夏の大三角**」は、夏のシンボルです。